

しあわせを
共に産み出す党
日本共産党

みんなの民報

2013年 4月 7日
第1699号
発行 日本共産党皆野町委員会
Tel 62-6733

ちよつなら 峠の学校 3月30日 金沢小学校閉校式

桜のつぼみがほころび始めた3月30日、肌寒い曇り空のもとで金沢小学校の閉校式がおこなわれました。金沢小学校は明治7年に創立され、多くの卒業生を送り出しました。

138年の歴史を閉校記念碑の除幕と共に閉じました。

小学校の閉校は地域住民にとって、拠点が無くなってしまったような寂しさです。春の桜に続き、校歌にも唄われたつつじが丘のつつじは卒業生が植え、代々の在校生や先生方によって守られてきました。秋には、小学生と住民一体となって体育大会が行われました。

少子・高齢化の中で全校児童数12名と減ってしまった現在、住民にとって閉校はつらい選択でしたが、「子供たちには、多くの友達と共に成長してほしい」との願いの結果でした。

閉校式には、金沢の住民を始め、金沢小学校に勤務して下さった先生方も多数参加され、別れを惜しみました。惜別の会で、最後の在校生となった12

人の児童による歌とベルの演奏は、1年生から6年生まで息もぴったり合い、参加者の感動をさそいました。そして新しい学校生活をしっかり受け止めてがんばってくれるものと心強く思いました。閉校記念誌は、どのページを開いても感謝の言葉やなつかしさにあふれる歴史が語られています。

高橋 富美子

OBの言葉

くやしい、寂しい！できれば永遠に残して欲しかった。東京からU-タンして、今度は子供が金沢小学校でお世話になった。「少人数での教育は？」と危惧する人もあるが、子供が少ないからと言って悪いことはなかった。先生方がよくやってくれて、本当によかった。



“春のつどい”を開催

今年の春は、梅も桜も花々が一気に咲き乱れ、まさに春爛漫。3/31皆野町総合センターで、みんなで楽しく和やかな集まりにしたいと、日本共産党“春のつどい”が開催されました。電子ピアノで春の歌を歌い、次に出てきたのが、有志による寸劇“七福神”、会場からは“可愛い”と声が上がったり、台本だけでは物足りないと感じるふは増え、身振り手振りの熱演、演じる面々が一番楽しそうでした。

常山町議からは、議員になってから

この一年、選挙公約の実現へ議会ごとに取り上げ、子供医療費の窓口払いの廃止・住宅リフォーム制度の改善・公共交通の改善が実現できました。しかし、住民の声が十分生かされたものにするには、検討の段階から住民が参加する協議会のようなものが必要。他の議員さんや住民の方々と一緒に引き続き頑張りますと2年目への決意が語られました。夏の参議院選挙埼玉選挙区の予定

候補でもある伊藤岳さんからは、特攻基地である宇佐市が田舎、平和の大切さと憲法について、さらに一部企業のもうけを迫及する安倍政権の金融緩和やTPP問題にもふれ、これでは国が繁栄するどころかすたれてしまう、西武秩父線の廃止は地元の観光や通勤などの交通の確保より、筆頭株主の米国企業の利益を優先させるまさにTPPの先取りのようなもの、と強く反対を訴えられました。会場からも沢山の質問が出され、意見交換ができました。



旧日野沢小学校の前に新しく観光トイレが設置されました。
